

2025年10月6日

各位

東北学院大学
アドミッションズ・オフィス

「受験ガイド2026」について（訂正とお詫び）

標記につきまして、下記のとおり誤りがございました。つきましては下記のとおり訂正するとともにお詫び申し上げます。

記

1. 訂正内容

① 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ページ	訂正前	訂正後	備考
表紙裏	「2017年度～2022年度入学生適用（工学部のみ2018年～2022年度入学生適用）」の記述	「2023年度以降の入学生より適用」の記述	詳細は本学ホームページよりご確認ください。 https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/information/aim/teaching.html

② 2026年度入学者選抜スケジュール「一般選抜前期日程」の「入学手続締切分納二次」の日程

ページ	訂正前	訂正後	備考
7P	2025年3月9日	2025年3月10日	

③ 編入学選抜の「出願資格」の「注意点」

ページ	訂正前	訂正後	備考
37P	① 本学在学者は、転学科（転学部を含む）の対象となるため出願できません。	① 本学在学者は、出願資格④に該当する場合のみ出願ができます。	

2. 訂正箇所抜粋（訂正後のみ）

① 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

※ 表紙裏

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	
<p>本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。 聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。 2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。 高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力（コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど）及び英語力を身につけ、活用することができる。 3. 課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組む 	<p>ことができる。</p> <p>地域の課題をはじめとする様々な具体的な課題を見つけ、教養教育及び専門分野の学修成果を総合的に活用することで課題の解決案を提示することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. ものこを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。 自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。 5. 専攻分野の学修成果を活用及び説明できる。 専攻する学問分野の専門的知識及び固有の認識や思考方法について、学修者自身が学修成果を活用し、「何を学び身につけたか」を説明できる。
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	
<p>本学は、学位授与の方針に定めた学修成果（以下「学修成果」という。）を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学修成果1～4を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1～2年次を中心に授業科目を配当する。 2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。 3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。 4. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「課題探究」を置き、その中で自ら課題を発見し、その解決を希求する姿勢を養う。 	<ol style="list-style-type: none"> 5. 教養教育科目の「人間的基礎」、「知的基礎」、「課題探究」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもち、学修成果1、2、4の達成と専門教育との接続により学修成果5の基礎とする。 6. 学修成果3は、能動的学修にむけた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部となる。さらに、教養教育及び専門教育の学修成果の活用を主たる目的として、専門教育科目に演習形式の授業科目を置く。 7. 学修成果4を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「共通教養」科目群を置く。また、初年次の専門基礎科目もこの学修成果を達成するための基礎とする。 8. 学修成果5を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置く。 9. 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう学科ごとに適切に定める。

② 2026年度入学者選抜スケジュール「一般選抜前期日程」の「入学手続締切分納二次」の日程

※ 7P

11月	12月	1月	2月	3月
	▶ 12月6日			▶ 3月下旬
		出願 1月 6日~ 1月 15日	試験 1日~ 2日	合格 発表 13日
			入学手続締切 全納・分納一次 20日	入学手続締切 分納二次 10日
			出願 2月 12日~ 2月 17日	試験 4日
			合格 発表 13日	入学手続 締切 24日
		出願 1月 6日~ 1月 15日	大学入学 共通テスト 17日~ 18日	合格 発表 13日
			入学手続締切 全納・分納一次 20日	入学手続締切 分納二次 10日
			出願 2月 12日~ 2月 17日	合格 発表 13日
				入学手続 締切 24日

③ 編入学選抜の「出願資格」の「注意点」

※ 37P

※ 出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)別表第1に定める「留学」の在留資格による方を指します。
次の①、②のすべてに該当する方です。

- ① 外国において通常の課程による14年の学校教育を修了した方、またはそれと同等以上の資格を有する方
- ② 独立行政法人日本学生支援機構が2025年6月、11月に実施する「日本留学試験」を受験した方。

▲【注意点】

- ① 本学在学者は、出願資格②に該当する場合のみ出願ができます。
- ② 出願資格要件を満たす見込みで合格し、入学手続きを完了しても、出願資格要件を満たせなかった場合、合格は取り消されます。

■ 出願期間・試験日・試験場・合格発表

出願期間	試験日	試験場	合格発表
2026年2月9日(月)~ 2026年2月12日(木) 15時必着	2026年3月3日(火)	東北学院大学 五橋キャンパス	2026年 3月13日(金) 10時

以上